

平成27年度 教育委員会教育次長「政策宣言」中間報告

教育委員会教育次長 尾山伸二

○ 平成27年度重要事業

| 事業名 | 質の高い教育の実践 |
|-------|---|
| 目 標 | <p>児童・生徒の基礎学力を定着させるため、新たな事業として、中学生の希望者を対象とした「土曜塾」や「夏休み補充学習」など、また、小・中学生を対象に、英語漬けの生活を体験する「イングリッシュキャンプ」を実施します。</p> <p>さらには、児童・生徒がより一層興味関心を持って授業に集中して取り組めるよう、小学校にデジタル教科書を導入するなど、学力向上を図ります。</p> |
| 進捗状況 | <p>夏休み補充学習は、各中学校で5回（述べ30回）、815人の生徒が参加しました。土曜塾は、これまで各中学校で1回、145人の生徒が参加しています。イングリッシュキャンプでは、小学校5年生から中学校2年生まで54人の応募があり、抽選により24人の児童生徒が参加しました。</p> <p>全ての小学校に、国語と算数のデジタル教科書を導入し、分かり易い授業に取り組んでいます。</p> |
| 今後の対応 | <p>引き続き、土曜塾を実施するとともに、デジタル教科書を有効活用しながら学力向上を図っていきます。</p> <p>イングリッシュキャンプでは、今後、希望する全ての児童生徒が参加できるよう、指導者の確保に努めます。</p> |

| 事業名 | 学びやすい教育環境の充実 |
|-------|--|
| 目 標 | <p>昨年度で全小・中学校の耐震化は完了しましたが、老朽化している片口小学校特別教室棟や歌の森小学校、小杉南中学校の大規模改造工事を実施するための設計を行うとともに、環境教育の一環となる小学校のグリーンカーテン事業を拡充し、夏季期間中の暑さ軽減を図ります。</p> <p>また、引き続き学習サポーターやチームティーチング指導員を配置し、支援を要する児童・生徒の見守りや個に応じた指導を行うなど、学習環境の充実を図ります。</p> |
| 進捗状況 | <p>小中学校の大規模改造事業実施設計は、順調に進捗しています。グリーンカーテン事業については、小学校8校に拡大して実施しましたが、十分にヘチマ等が成長せず、効果を得られない学校もありました。</p> <p>また、個に応じた指導等につきましては、各小中学校に学習サポーターを33人配置するとともに、チームティーチング指導員を全中学校に1～2人配置しました。</p> |
| 今後の対応 | <p>グリーンカーテン事業については、人的負担や費用対効果などを総合的に考慮して、今後のあり方について検討します。</p> <p>学習サポーター等については、引き続き、各学校の状況に応じ</p> |

| | |
|--|------------|
| | て配置していきます。 |
|--|------------|

| | |
|--------------|---|
| 事業名 | 文化・スポーツの振興 |
| 目 標 | あいの風とやま鉄道小杉駅に鍍絵看板を設置するなど、歴史と文化が薫るまちづくり事業を推進するとともに、射水市合併10周年を記念した「特別巡回ラジオ体操」や「富山マラソン2015」などスポーツイベントを通じて、全国に射水市を発信していきます。 |
| 進捗状況 | 鍍絵看板デザイン募集で最優秀賞となった2点の原画をもとに、富山県左官事業協同組合に所属する左官職人により、鍍絵看板の制作が進んでおり、来年3月に設置する予定です。 5月10日、歌の森運動公園を会場に約3,000人の市民が参加して巡回ラジオ体操が行われ、全国放送されました。 富山マラソンは、全国すべての都道府県及び国外10か国から約14,000人（内、射水市から536人）の参加を得て、11月1日に開催されます。市内の沿道7か所では、曳山の展示などのイベントや小中学生による応援を行う外、赤巻かまぼこなど射水市の特産品で参加者をおもてなしします。 |
| 今後の対応 | 来年9月上旬に、大島絵本館において「(仮称)全国絵本ミュージアム会議」を、同月24日・25日には、旧北陸道アートin小杉の開催に合わせ、竹内源蔵記念館周辺を会場に「全国鍍絵サミット」を開催する予定です。 |